

ママの生き方、ママの生かし方

ママ、ときどき、スペシャル。



ママとして子育ての生活を楽しむ、子どもの成長に喜びを感じているママはたくさんいます。子どもの成長を通じて、自分自身の成長を感じているママもたくさんいます。その一方で、「子育ての生活は充実しているけど、それだけじゃ…」と、焦燥感にも似た気持ちを持つてしまうママが多いことも感じます。事実、子育てと仕事の両立は、多くのママが経験する「壁」です。就業意欲を確保する点から、子育て支援策が組み立てられています。保育園の充実は、その代表例です。ママたちの胸の内を取材していく中で、「したたかなママ」に出会うことがあります。子育ての生活を大切にしたり優先したりしながら、フルタイムで働くという選択をしないで、「自分らしさ」を実現しようとアイディアを出して共感し合う仲間を集め、行動しているママです。そんなママたちとの出会いから、子育てという生活がきっかけになつて、自分自身をキラキラさせたりワクワクさせたりするやり方があると感じます。「したたかなママ」を事例として取り上げながら、今どきの「ママの生き方・生かし方」を読者の皆さんと一緒に考えていくのが、この企画の趣旨です。



今回取り上げるのは、県内のママたちが立ち上げた「ママステ」です。「ママになる」とことで発見したり気付いたりする才能がある。それが「ママステ」の活動の大きな特長です。「子どもに着せたい服がなかなか見つかなくて。だったら、自分でブランニングして作ってみようと思いました。『もつとこうしたらかわいい』とか『子どもの肌のことを考えたら、こ

んな素材を使いたい』など、いろいろな発見があります」、「独身の頃に培ってきたバイヤーの経験を生かして、子ども服の提案をしていきたいんです」「子どもが私のパートナーです。『ママ、こつちのほうがいいんじゃない』と子どもと一緒に創るので、とても充実感を感じます」。子育てをしていく中から発見する「ママならではの視点」からマイブランドを立ち上げ、自分自身を輝かせる道筋を立てています。もう一つのしたたかさは、発見や思いを込めたハンドメイドの作品を商品にしようとしているところです。価格を設定して販売する。それによって収入を得る道筋を立てて、その成果をあげ始めています。しかも、販売につきまつづリスクを抑えていこうと、ネット通販という方法で運営しています。

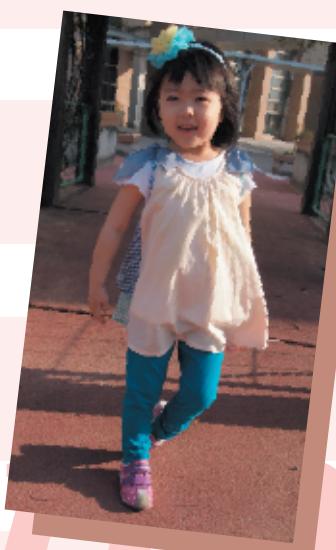
Cheers! Kids 手づくり表現ステージ ママステ

ママの才能

検索

<http://mamastage.com/>

「ママステ」は作品を発表する機会であり、マイ店舗でもあるのです。また、地域にイベントを仕掛けたり協働したりして、楽しみながら自身をアピールしています。そうした点が、いわゆる「子育てママサークル」と決定的に違う点です。「ママ、ときどき、スペシャル」。このフレーズに込められた「ママステ」のハンドメイドコレクションを紹介して、読者の皆さんにメールを送ります。



Collection